

令和5年度ブロック研修会報告書【提出期限：研修終了後】

令和5年10月31日

全国保健師長会事務局 辻 様

E-mail tuji@jpha.or.jp

ブロック名 東海・北陸

令和5年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生活動の展開 ～「誰ひとり取り残されなし」保健師活動の転換期を仲間と乗り越える～
研修の概要	全国保健師長会活動報告 令和5年度全国保健師長会活動について資料に基づき報告 報告者 副会長 河西あかね 氏 講演 コロナ禍を乗り越えたリーダーの経験を保健師活動に生かす ～レジリエンスの高い組織づくり～ 講師 日本赤十字看護大学 さいたま看護学部 教授 成木弘子 氏 経験したことのない世界に対応するために必要な人材は、レジリエンスを持っている人材であり、個々のレジリエンスを高めるためには、個人の見 効力感を高め、心理的安全性の高い職場環境、リフレクションが必要である。レジリエンスを高める手法としての経験学習を参加者が体験した。
意見交換の 内容など	全国保健師長報告 ・アンケートの結果から、自分を振り返ることができた。 ・新任期、中堅期、管理職の理解を深めるポイントがつかめました。 ・コロナの対応記録を保健師長会でまとめていただきよかった。 講演 ・演習では、困難な中、手探りで取り組んできた活動を報告した。グループメンバーより、できているところをたくさんフィードバックしていただけて、元気をたくさんいただいた研修でした。 ・振り返りの作業が大切であることを改めて実感しました。スタッフの育成にも取り入れていきたい。 ・演習をすることで、自己効力感が高まり、モチベーションアップにつながった。ぜひ、人材育成に活用したいと思った。 ・自分の成功体験を振り返り、意見を出し合うグループワークで元気がもられた。職場全体の意欲を高めるために活用できると思いました。 参加者：98名
報告者	所属・氏名：福井県丹南健康福祉センター 濱坂浩子 電話番号・アドレス：0778-51-0034 h-hamasaka-01@pref.fukui.lg.jp

※報告書を提出する際は、案内チラシ、プログラム、配布資料（講師の承諾を得る）をPDF化して添付してください。全国保健師長会ホームページに掲載します。

※本様式は、適宜、枠を調整し、できるだけ1枚に納まるよう記載をお願いいたします。

※研修終了後できるだけ早めにご提出をお願いいたします。（令和5年12月末〆切）